

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるシヤトネラ マリナが最大0.02細胞/ml確認されました。現在の細胞数は少ない状態ですが、細胞数の急激な増加により被害が発生する可能性も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう、引き続き十分注意してください。

またアカシオ サンガイネアが最大0.76細胞/ml、プロロセントラム属が最大0.17細胞/ml確認されました。これらのプランクトンは基本的には無害ですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.11細胞/ml確認されました。

本日の調査においては、全調査地点にてケイ藻類が確認されました。他県の観察結果によるとケイ藻類の増加が見られた後に、有害赤潮プランクトンの増殖が確認された例もありますので、注意をお願いします。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シヤトネラ	アカシオ	プロロセントラム属	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	マリナ	サンガイネア		
片島 (別図⑦) 採水時間 9:52 透明度 - m	1.0	26.1	33.0	5.3	0	0	0.02	0.04
藻津① (別図⑨) 採水時間 10:03 透明度 - m	3.0	25.8	33.3	6.1	0.02	0	0.17	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 10:11 透明度 - m	3.0	25.8	33.0	6.1	0	0	0.06	0.11
青瀬山 (別図③) 採水時間 10:35 透明度 - m	5.0	26.1	33.6	5.6	0	0.01	0.03	0
一切田 (別図⑪) 採水時間 10:39 透明度 - m	3.0	26.1	33.4	6.3	0.02	0.76	0.1	0
弘浦② (別図①) 採水時間 10:50 透明度 - m	3.0	26.2	33.5	5.8	0	0.01	0.02	0
田ノ浦 (別図⑧) 採水時間 11:05 透明度 - m	3.0	26.1	33.5	4.7	0	0	0.02	0

※被害が想定される赤潮プランクトンの細胞密度
シヤトネラ マリナ・・・注意報:1細胞/ml、警報:10細胞/ml

「赤潮・貝毒プランクトンの調査について」は当所ホームページ内の
「宿毛湾赤潮情報」(URL:<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040406/akasio.html>)においてもご覧いただけます。